

議長	副議長	局長	次長	副課長	総務係長
委員長	副委員長	副委員長	書記		

会 議 記 録					
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室	
				担当職員 阿久根由美子	
日 時	平成26年8月18日(月曜日)		開 議	午後	4 時 23 分
			閉 議	午後	4 時 40 分
出席委員	菱田 山本(広報部会長) 眞継(広聴部会長) 苗村 福井 中村 小島 中澤 堤 (明田議長)				
事務局出席者	藤村局長、山内次長、阿久根副課長、坂田主任				
傍聴	可	市民 名	報道関係者 名	議員 名()	

会 議 の 概 要

16:23

〔菱田委員長開議〕

1 わがまちトークについて

<菱田委員長>

先の打合せでは全議員の理解が得られなかった。今後の方向性を見出していきたい。

<小島委員>

打合せでの意見は心配していたことでもある。地元議員と参加者との間でバトルになったこともある。根本的に考えなければならない。いままでの報告会の集大成を検証し、報告すればよい。市民ホールの1カ所でもよいと思う。

<苗村委員>

報告会をやめるのではなく、報告会の成果や報告会に対する意見を聞くのを前半に、後半は意見交換をすればよい。総務文教常任委員会でやったわがまちトークは身近な問題でもあり、参加者を増やす方法としてよいと思う。

<堤委員>

意見がある以上白紙に戻し、地元議員は他町の報告会に行き、今期は従来どおりで終了すればよい。

<中村委員>

参加者を集めることが目的なのかもっと議論して方向性を決めればよい。地元議員のはり付けにこだわらなくてよいと思う。

<福井委員>

何も変わらない、挑戦しなければいけない。議会だよりで開催すると載せているのでやらないといけない。広報広聴会議で議会だより、議会報告会についてやればよい。

< 中澤委員 >

市民の意見を引き出すことが報告会の目的である。議員個人の意見も良識の範囲で言えばよい。このまま開催しても問題はないと思う。

< 山本副委員長 >

広報広聴会議で決まっていたように、自治会に聞いてテーマを設定するか、地域共通のテーマなどで設定するか、それぞれ班で議員が話し合い決定すればよい。

< 明田議長 >

何らかの形で4年間をまとめればよい。地元こだわりの自治会はなかったように思う。選挙を控えているという意見はどうかと思う。常任委員会でテーマを持ってやるのがよいと思う。参加が多いことは大切なことである。

< 眞継副委員長 >

従来との報告会と変わらない。市民と身近に話せるので地元議員の設定をした。地元だから話しにくいという意見は残念に思う。白紙に戻す。変更を加えてもできない理由の意見が出る。地元で話が出来ず何が出来るのか。一回開催でもよいと思う。全議員揃わなくてもよい。一旦取りやめているので、更に腰を上げるのが重いという環境面もあるし、テーマ別開催のルートもあると考える人もいるので、今回の地元議員の設定にハレーションが起きたのではないかと思う。

< 菱田委員長 >

打合せのなかでは消極的な意見だった。現状が分かった。広報広聴会議で練り直したい。

< 中澤委員 >

議員が個人の意見を述べることを整理すればできると思う。

< 眞継副委員長 >

個人意見のことではなく、地元議員の設定が問題だと思う。

< 菱田委員長 >

白紙にして、広聴部会で整理願う。

〔菱田委員長 閉議〕

16 : 40